

日本初開催の「Global LeSS Conference」に協賛

～ 国内外 130 名の実践者が集い、組織変革とプロダクト開発の知見を共有 ～

BIPROGY は、2026 年 10 月 8 日（木）、9 日（金）の 2 日間、BIPROGY 本社「SQUARE」で開催された、一般社団法人 Adaptiveness が主催する国際カンファレンス「2026 Global LeSS Conference Japan / LeSS' Yoaké Asia 2026」に協賛しました。



「Global LeSS Conference」は、大規模スクラム（以下 LeSS : Large-Scale Scrum）を実践する世界中のプロフェッショナル、トレーナー、リーダーが一堂に会し、組織変革やプロダクト開発に関する知見を共有する国際カンファレンスです。

今回、日本で初めて開催されたカンファレンスには、国内外から 130 名が参加しました。組織変革やプロダクト開発に携わる実践者が集まり、講演やワークショップを通じて、それぞれの経験や課題、実践から得た知見を共有しました。

■ 継続的なコミュニティ活動を背景に協賛

BIPROGY は、社内外におけるアジャイルの普及・実践に取り組むとともに、LeSS コミュニティーでの活動を通じて、国内外の実践者との交流を続けています。

今回、こうした継続的なコミュニティ活動を背景に協賛しました。国内外の実践者が一堂に会する場づくりを支援するとともに、大規模アジャイルや組織変革、プロダクト開発に関する最新の実践知に触れ、参加者との交流を深めました。

■ 講演やワークショップを通じた実践知の共有

カンファレンスでは、GROOVE X 株式会社の林 要氏による、「LOVOT」の開発における LeSS の活用をテーマにした基調講演が行われました。また、言葉を使わずに取り組むワークショップなど、国内外の参加者が交流するプログラムも実施されました。海外トレーナーによるセッションでは、トヨタ生産方式（TPS）や自動化といった日本発の考え方を AI 活用と結び付

けた講演が行われました。

LeSS の創始者の一人である Bas Vodde 氏による基調講演では、チームの健全な協働や、組織の継続的な学習・成長に関する視点が紹介されました。



■カンファレンスで得た知見をアジャイル開発支援へ

BIPROGY は、アジャイル開発の立ち上げやコーチング、技術支援を提供する「AlesInfiny AXLab」と、お客さまと BIPROGY が一体となった開発チームを構築する、チーム提供型の「アジャイルチーム開発サービス」を展開しています。これらのサービスを通じて、アジャイルの導入からチームの定着・内製化、ナレッジの整備、AI 活用まで、お客さまの継続的な変革を支援しています。

BIPROGY は、本カンファレンスへの協賛や参加者との交流を通じて得た気づきや知見を今後のサービスや支援に生かし、複数チームにまたがる開発や、組織横断での変革に取り組むお客さまへの支援をさらに強化していきます。

以上

■関連リンク

- ・ 2026 Global LeSS Conference Japan / LeSS' Yoaké Asia 2026
<https://japan.less.works/ja/>
- ・ AlesInfiny AXLab
<https://alesinfiny.biprogy.com/service/axlab/>
- ・ アジャイルチーム開発サービス
<https://www.biprogy.com/solution/service/ats.html>

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本件に関するお問い合わせ>

<https://x.gd/uVPS50>